

荒山山行報告（平成 28 年 5 月 22 日（日））

参加者： 5 名 天気： 晴れ

行程： 前橋 8：55＝（タクシー¥6,400）＝9：25 箕輪（P、トイレ有）9：40－10：25
荒山高原 10：40－11：50 荒山（1,572m）12：20－12：35 ひさし岩－13：15 シバの広場
13：25－道間違－13：45 シバの広場－13：55 荒山高原 14：40－15：20 箕輪バス停 15：
36＝16：00 富士見温泉 16：05＝16：35 前橋駅（駅前で反省会）19：13

群馬の名山赤城山は多くの峰を連ねた複成火山であり、その外側にある寄生火山の一つが荒山である。初夏にはツツジの花が咲き乱れるというので昨年 6 月 7 日に行ったところ、すでに花が終わっていた。今年はリベンジとして 2 週間早い日程を組み 5 名で挑戦した。

さて、当日はそれぞれ高崎線と八高線を利用して前橋駅で集合した。8 時 45 分発のバスはすでに大勢乗り込み座席は満杯なので中型タクシー 1 台に乗って出発、9 時 25 分に箕輪登山口に着いた。すぐ近くの登山口から一歩山に入ると広葉樹が茂る緑の別天地である。今日は快晴で気温も 30 度を超すとこの予報であるが木陰は涼しい。そのうちに石ころがゴロゴロして歩きにくい道となり、これを登り切って 10 時 25 分に荒山高原に着いた。

荒山高原はまさにツツジの庭園で、広場になっている周りすべてがヤマツツジの朱色に染まっている。一休みした後荒山に向かって登り出すと、ヤマツツジのほかに、トウゴクミツバやシロヤシオなど実に色とりどりである。たまに樹がない場所から見える関東平野は、暖かすぎてもやっているのが残念である。間もなく山頂直下に達すると、今までとは違って岩の多い登りにくい道となったが、11 時 50 分に荒山山頂（1,572m）に到着した。

山頂は平らで広いが落葉樹林に囲まれて見晴らしもツツジもほとんどない。軽い昼食を摂り 12 時 20 分に下山する。南東方面に下り見晴らしの良い大きな岩場の「ヒサシ岩」を通過し、さらに下るとどんどんツツジの花が増えてきた。歩きやすい道を順調に下って芝の広場に出ると、周りが素晴らしいツツジの群落である。ここで道を間違えて下ってしまい 20 分ほどロスしたが、先ほどの芝の広場に戻り 10 分で荒山高原に戻った。

荒山高原に着いたが、先行した 1 名が見つからない。もしかして鍋割山に登ったのかもしれないので、降りてくるのを待つが現れない。さすがの晴天も徐々に雲が多くなってきたし、バスの時刻も迫ってきた。先に下に降りているのかもしれないとバス停まで下ることにして、15 時 20 分ごろバス停に着いたが姿が見えない。携帯にかけると呼び出すものの返事がない（家に忘れてきたそう）。いずれにしても、このコースで遭難ということはないだろうからと、15 時 36 分のバスに乗って 16 時 53 分前橋駅に着いた。

自宅に連絡して事情を説明したが、まだ自宅にも連絡がないとのこと。駅前の飲み屋で反省会を開催したがいまいち盛り上がり欠けた。赤羽で乗り換えるときに本人から道を間違えて違う場所に下山したが無事帰宅した、との連絡が入って安心したのであった。

（伊藤）



お疲れ様



ツツジが一杯



ツツジが道にも



荒山高原



高原で一休み



待ちながら一杯